

■米国：電気料金支払者はコストが掛かる場合は、グリーンエネルギーを拒否

2012年10月15日付現地報道によると、風力発電電力の購入について、議論のあるアイダホ州で、現地アイダホ・ステーツマン紙の行った世論調査（ワシントンD.C.メイソン・ディクソン・ポーリング&リサーチ社が実施）では、アイダホ州の需要家の大多数は、アイダホ・パワー社に石炭の使用を少なくし風力のような代替エネルギー源を多く使用することを要求することで、余分な費用がかかり、電気料金の引き上げになる場合は、これに反対している。また、回答者の大半はアイダホ・パワー社や事業者を監督するアイダホ州公益事業委員会の活動を是とする意見を示した。Q&Aは、以下のとおり。Q1.あなたは、アイダホ・パワー社をどのように評価していますか - 好ましい 53%、意見なし 24%、好ましくない 23% Q2.アイダホ州公益事業委員会は電気料金を規制し、需要家の保護に努めていますか - 認める 61%、認めない 20%、わからない 19% Q3.環境を保護するためには、料金の値上げを招くにもかかわらず、アイダホ・パワー社に石炭の使用を少なくし、風力発電など再生可能エネルギー源をもっと使用することを同社に要求することを支持しますか、反対ですか - 62% 反対、30% 支持、8% 未定